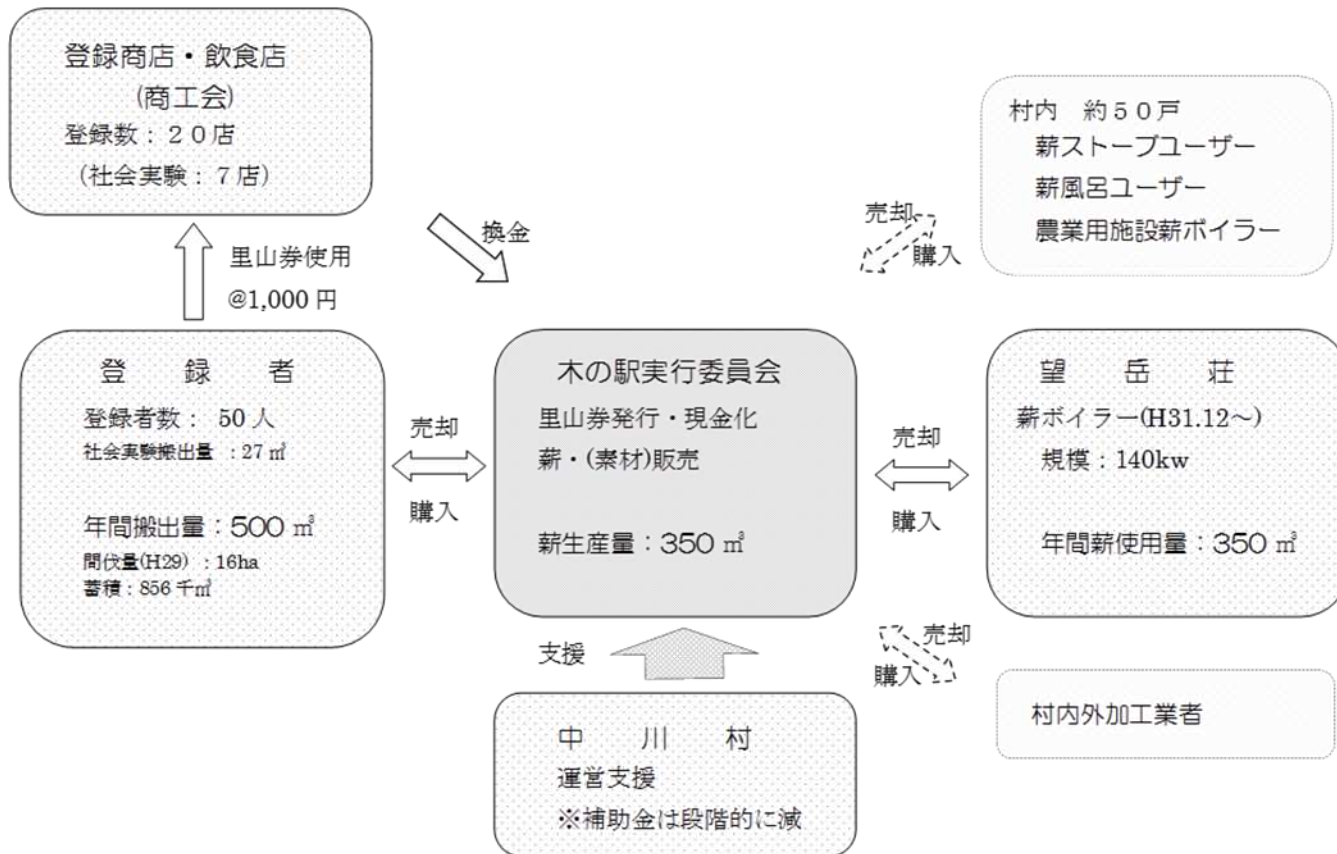


事業名	信州なかがわ木の駅プロジェクト事業		
事業実施主体	中川村	補助対象事業費 2,500千円	補助金:1,875千円
協力団体等	信州なかがわ木の駅実行委員会		
事業の概要	<p>村内の森林資源を薪として有効に活用し、地域の活性化を図るため、設立した実行委員会と共同で地域内の薪流通システムを実際に稼働していくための地盤づくりを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 先進地視察 (大垣市上石津町、30.7.11) 参加者15人 2 資機材の購入(薪割機、広報用のぼりばた等) 3 安全講習会(山仕事手習い塾)の実施(30.9月から11月まで12回) 出席者 延べ86人 4 木の駅開駅イベントの実施(30.10.27) 5 事例報告会(信州なかがわ森林フェスティバル)の実施(31.2.11) 場所 中川文化センター 		
薪の流通システム解説	<ol style="list-style-type: none"> 1 薪の出荷登録者が村内の山林から原木を搬出し、木の駅(土場)に運搬。薪に加工され、薪ボイラー利用施設等(温浴施設、薪ストーブユーザー)に販売。 2 出荷登録者には、地域通貨が支払われ、村内の商店、飲食店等で使用できる。 3 木の駅実行委員会が薪の生産・販売、通貨の管理、換金等を担う。 		
事業の効果	村内の里山整備の促進及び資源の有効活用、地域通貨による村内産業の活性化		
事業成果、良かった点、反省点今後の改善点など	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅が開駅し、平成30年度でおよそ200立米が集材。 ・薪の生産システムの構築まですすんだが、運用までは至らなかった。 ・今後温浴施設における薪ボイラーの稼働してからの継続的な薪の生産について取り組んでいく。 		

事業イメージ図

中川村 木の駅プロジェクトシステム(計画)





木の駅 開駅イベント H30.10.27 小学生による地域通貨デザイン



先進地視察（大垣市上石津町、30.7.11）



中川村森林フェスティバル H31.2.11

実行委員会による寸劇を交えた発表